

日本人間性心理学会 第38回大会

人間と社会に貢献できる『新・人間性心理学』の探求と構築



大会プログラム

2019年 9月22日(日)・23日(月祝)

会場 跡見学園女子大学 文京キャンパス



JAHP

The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会 第38回大会

人間と社会に貢献できる『新・人間性心理学』の探求と構築

大会プログラム・発表論文集

2019年 9月22日(日)・23日(月祝)

跡見学園女子大学 文京キャンパス

INDEX

ご挨拶	1
日本人間性心理学会 歴代大会一覧表	2
日本人間性心理学会第38回大会 開催概要	3
会場へのアクセス	4
学内案内図	5
大会日程	8
参加者の皆さまへのご案内	10
座長の先生方へのご案内	12
研究発表を行う方へのご案内	13
学会賞受賞記念シンポジウム	15
大会主催 ワークショップ一覧	16
ワークショップ一覧	17
シンポジウム一覧	18
口頭発表一覧	19
卓上ポスター一覧	22
発表論文集	
大会主催 ワークショップ	26
ワークショップ	36
シンポジウム	46
口頭発表	56
卓上ポスター	70

ご 挨拶

日本人間性心理学会第38回大会

大会運営理事会代表 松本 剛

日本人間性心理学会第38回大会は、2019年(令和1年)9月22日(日)～23日(月祝)に跡見学園女子大学文京キャンパスで開催することになりました。跡見学園女子大学文京キャンパスは、交通至便な東京都心に位置し、近代的でとても美しいキャンパスです。学校法人跡見学園には、学会開催にあたりさまざまなご配慮をいただき、感謝申し上げます。

これまでの人間性心理学会年次大会は、基本的に年度毎に担当校を決め、近隣の学会員が協力しあいながら準備委員会をつくり、大会当日まで運営するという形式を重ねてきましたが、第38回大会はこれまでの形を踏襲せず、「理事会主催」という新しい大会運営を試みることになりました。理事会は全国に分散しており、準備のための集会を開くことが難しい部分もありますが、それぞれの理事が役割を分担しながら準備を進めてきました。

また、これまで学会会期を3日間としてきましたが、第38回大会の会期は2日間とすることになりました。日程的には簡素化のためいくつかの変更点もあるのですが、有意義な時間を皆さまとご一緒したいと考えています。

昨今、地球環境や社会のありようの変化、個々の価値観の多様化が顕著になっています。硬直化したこれまでの規範は揺さぶられ、柔軟で変化に対応できるありようが問われているようです。このような時期に開催される第38回大会のテーマは、「人間と社会に貢献できる『新・人間性心理学』の探求と構築」としました。研究発表(口頭・卓上ポスター)、学会賞受賞記念シンポジウム、ワークショップ、総会、懇親会などが予定されています。学会賞受賞記念シンポジウム「未来を紡ぐ人間関係研究会の歩み」は一般公開とし、ワークショップは午前・午後の2部構成になりました。大きな変化の時期に、これからの人間と社会にとって人間性心理学が果たす役割を見いだしていく機会となることを期待しています。

多くの会員の皆様に大会に参加していただくようお願い申し上げます。9月に皆様にお会いできることを理事会準備委員一同楽しみにしています。

日本人間性心理学会 歴代大会一覧表

回	日程	会場	大会長*・準備委員長	事務局長・次長*
1	1982年7月10日～11日	京都女子大学	畠瀬 稔	
2	1983年9月10日～11日	YMCA アジア青少年センター	水島 恵一	
3	1984年10月15日～16日	名古屋大学	村上 英治	
4	1985年10月19日～20日	日本女子大学	杉溪 一言	
5	1986年9月27日～28日	大阪大学人間科学部	梶田 叡一	
6	1987年9月11日～13日	法輪閣、団参会館	恩田 彰	星野 命
7	1988年9月1日～4日	明治学院大学横浜校舎	神保 信一	
8	1989年9月2日～5日	龍谷大学深草校舎	西光 義敏	畠瀬 直子
9	1990年9月6日～9日	東京家政大学狭山校舎	橋口 英俊	
10	1991年11月14日～17日	福岡大学セミナーハウス、九州大学教養部	村山 正治	野島 一彦
11	1992年11月5日～8日	東京大学山上校舎・安田講堂	見藤 隆子	広瀬 寛子
12	1993年9月2日～5日	大阪市立大学、大阪女学院短期大学	倉戸 ヨシヤ	倉戸 由紀子
13	1994年9月15日～18日	東京農業大学、文化服装学院	岸田 博	清水 幹夫
14	1995年9月14日～17日	愛媛大学教育学部、子規記念博物館	福井 康之	
15	1996年9月13日～16日	名古屋大学情報文化学部、大学院人間情報学研究科	伊藤 義美	
16	1997年9月12日～15日	文教大学越谷校舎	水島 恵一	上杉 喬
17	1998年9月12日～15日	追手門学院大学	小花和 昭介	井上 知子
18	1999年10月9日～11日	京都文教大学	越智 浩二郎*・林 昭仁	
19	2000年9月29日～10月1日	長崎純心大学	児島 達美*・大野 弘之	
20	2001年8月31日～9月3日	札幌学院大学	滝沢 広忠	
21	2002年9月20日～23日	神戸女学院大学	池見 陽	古今堂 紘
22	2003年7月19日～21日	山梨英和大学	林 昭仁*・駒米 勝利	鎌田 誠
23	2004年9月3日～5日	文教大学越谷校舎	上杉 喬*・秋山 胖	渡邊 忠
24	2005年9月23日～25日	九州大学箱崎地区文系キャンパス	野島 一彦	吉良 安之
25	2006年11月3日～5日	愛知学院大学日進キャンパス	池田 豊應*	石川 雅健
26	2007年11月23日～25日	仁愛大学	福井 康之*・駒米 勝利	鎌田 道彦
27	2008年8月1日～3日	関西大学千里山キャンパス	中田 行重	
28	2009年8月28日～30日	法政大学多摩キャンパス	清水 幹夫	
29	2010年9月24日～28日	熊本大学	藤中 隆久	
30	2011年10月8日～10日	愛知教育大学	原口 芳明	
31	2012年9月21日～23日	宇部フロンティア大学	酒木 保	小山 典子
32	2013年9月14日～16日	大正大学	日笠 摩子	青木 聡
33	2014年10月11日～13日	南山大学	津村 俊充	中村 和彦
34	2015年9月12日～14日	聖カタリナ大学	坂原 明	森平 准次
35	2016年8月26日～29日	九州産業大学	三國 牧子	
36	2017年9月8日～10日	東海学園大学名古屋キャンパス	石田 妙美	大島 利伸
37	2018年9月14日～16日	人間環境大学岡崎キャンパス	伊藤 義美	三後 美紀 石田 妙美*
38	2019年9月22日～23日	跡見学園女子大学文京キャンパス	松本 剛	高橋 紀子

日本人間性心理学会第38回大会 開催概要

テーマ

人間と社会に貢献できる 『新・人間性心理学』の探求と構築

1. 会 期 2019年9月22日(日)～23日(月祝)(2日間)

2. 会 場 跡見学園女子大学 文教キャンパス
(〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2)

3. 開催校 理事会主催

4. 大会運営理事会

代 表 松本 剛

事務局 長 高橋 紀子

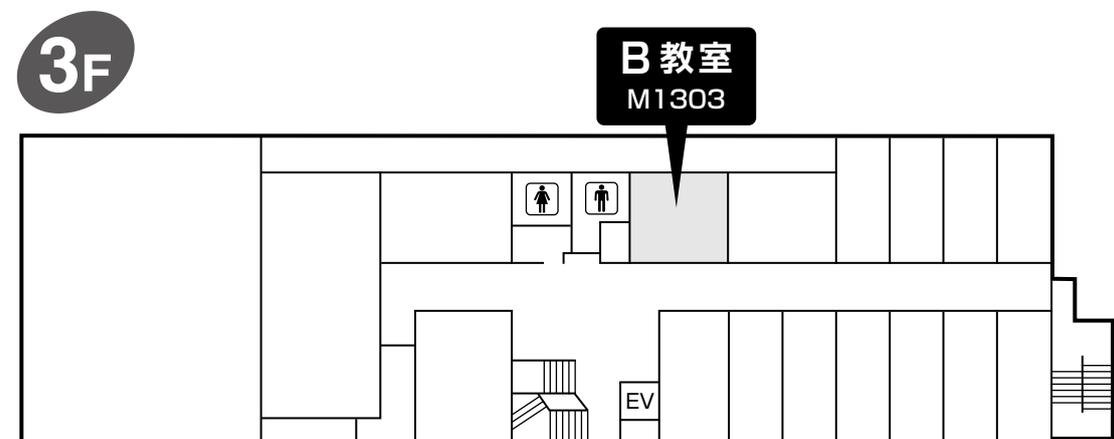
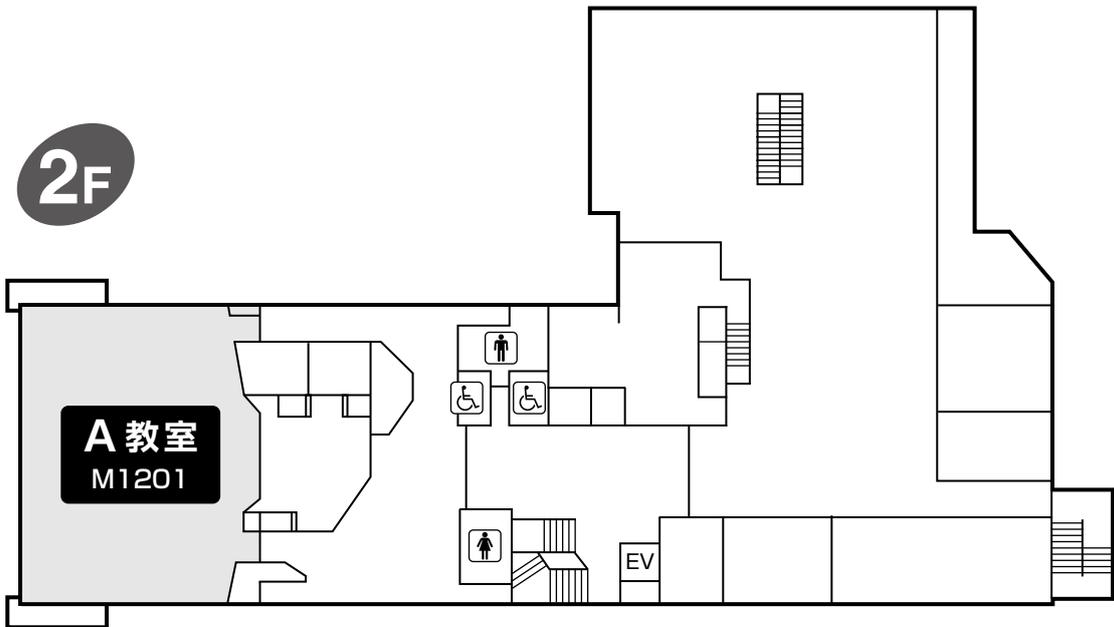
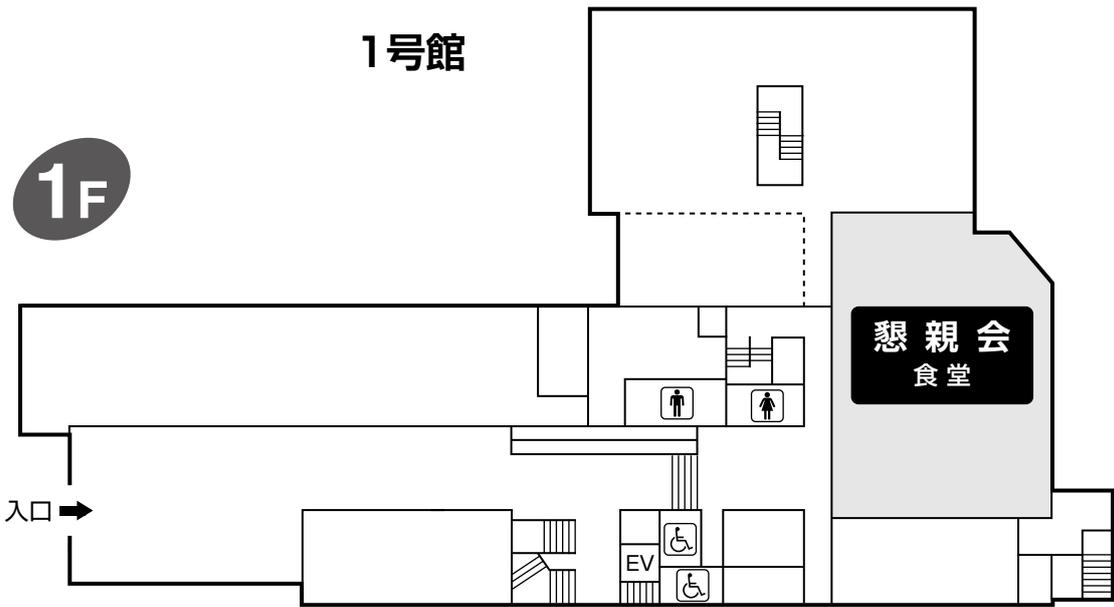
会 計 白井 祐浩

大会運営理事 伊藤 義美・金子 周平・池田 豊應
石川 雅健・石田 妙美・榎本 光邦
岡田 敦史・川田 彩・小林 孝雄
齋藤 崇・坂井 祐円・中西 龍一
板東 充彦・三國 牧子・桃木 徳博
森岡 正芳・山本 洋子・吉川麻衣子

5. 事務局 日本人間性心理学会第38回大会運営委員会 事務局
〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室内
FAX: 024-503-3414 MAIL: 2019jhpc@gmail.com

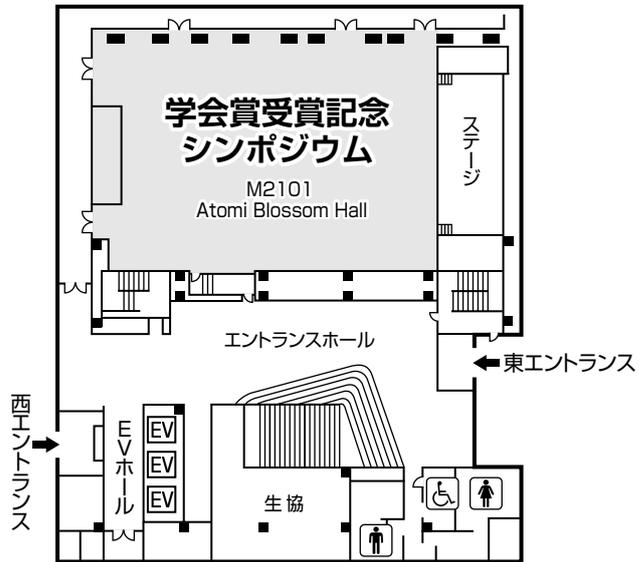
学内案内図

1号館

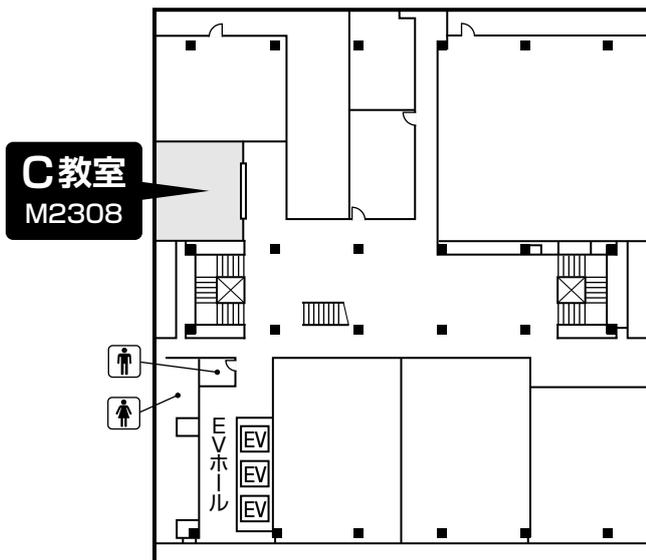


2号館

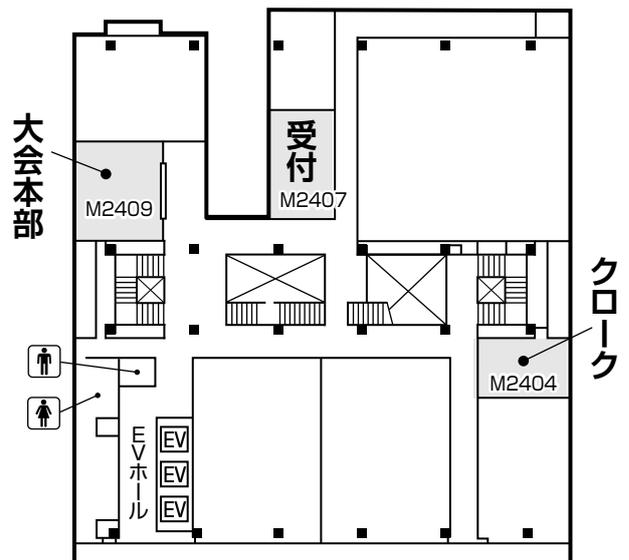
1F



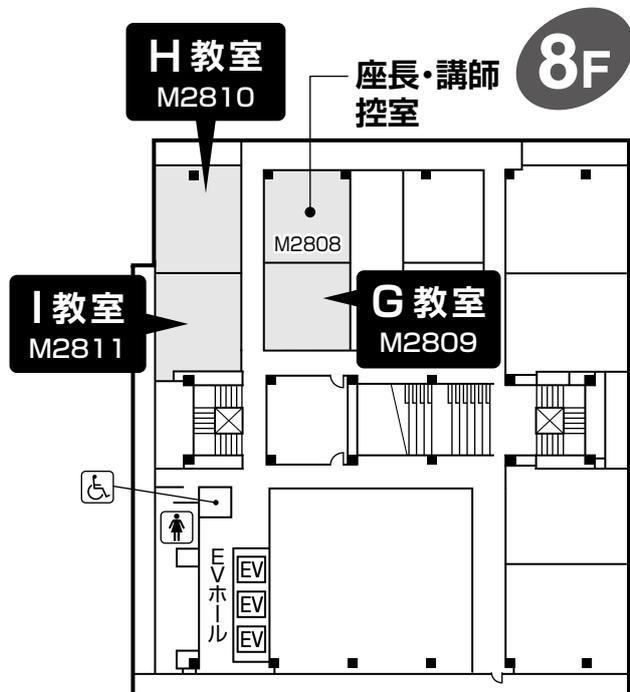
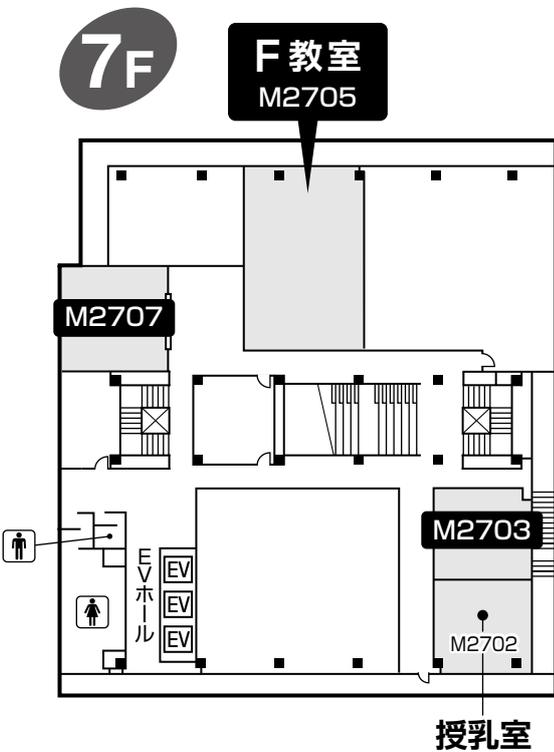
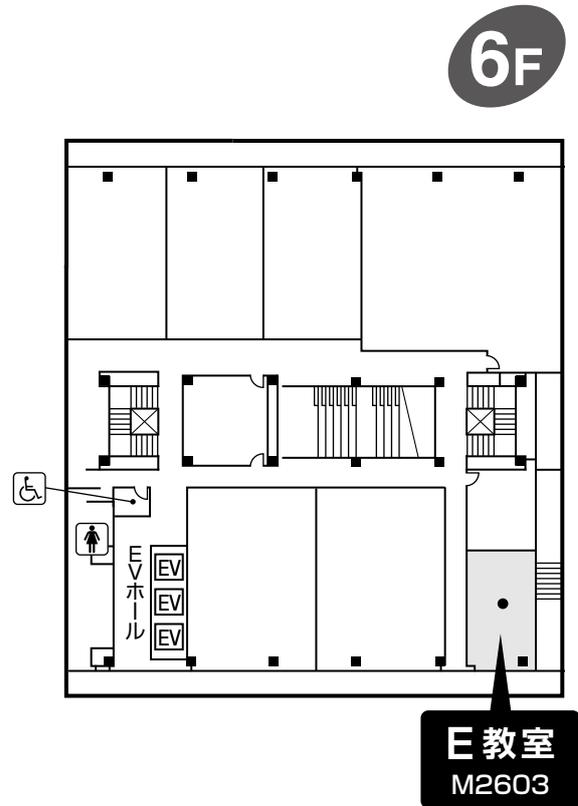
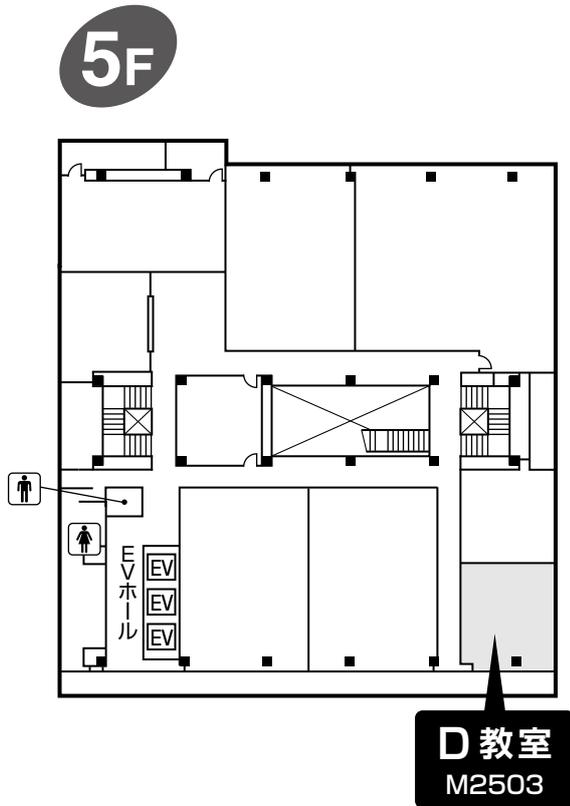
3F



4F



2号館



1日 9月22日(日)

		2号館										
		1号館	1F 食堂	2F A教室	3F B教室	3F C教室	5F D教室	6F E教室	7F F教室	8F G教室	8F H教室	8F I教室
10:00						10:15~11:15 W-1 交差のリアリティを 実践する 村里 忠之				10:15~11:15 口頭発表 1 O-01~O-03 座長：松本 剛	10:15~11:15 W-2 江戸川乱歩と精神分析 一文「J・A・シモンズ のひそやかなる情熱(三)」 を讀む 鶴田 一郎	10:15~11:15 S-1 不登校問題を考 えるX—学校で 今できることにつ いて— 寺田 道夫
11:00						11:30~12:30 S-2 「交差」概念の拡 張について考える 高橋 寛子				11:30~12:30 口頭発表 2 O-04~O-06 座長：濱野 清志		11:30~12:30 S-4 フォーカシング指向心理 療法の全体像と場所 —どのように臨床プロセスが組み どくのか— 河崎 俊博
12:00						11:30 卓上ポスター 発表 P-01~ P-14	11:30~12:30 W-3 一人のレスビアン50 年代女性の人生の理解 —語る行為の影響に も着目して— 田中 将司					
13:00			12:45~ 13:45 総会									
14:00	14:00~15:00 W-5 EGカフェに参加 しませんか in 跡 見学園女子大学 法眼 裕子			14:00~15:00 W-4 フォーカシング指向心理 療法における相互作用 と交差—複雑な面談の逐 語記録の分析を通して— 内田 利広	14:00~14:40 口頭発表 3 O-07~O-08 座長：村山 正治	14:00~15:00 W-6 支援者支援のための解 決志向リフレクティング —日本で実践可能な簡 易版「未来語」の試み— 田代 順	14:00~15:00 W-7 体験過程 尊重的 アプローチにおける マイクロ技法の探索 森川 友子	14:00~15:00 W-8 心理臨床家を自由に する「からだごとば」 —ことば以前のからだ 春日 作太郎	14:00~15:00 口頭発表 4 O-09~O-11 座長：藤中 隆久	14:00~15:00 口頭発表 5 O-12~O-14 座長：小林 孝雄		
15:00						15:15~16:15 S-5 幼児の表現(言語 や身体で表すこと) をどのように促すか —フォーカシングを用いた 関わりの可能性を探る— 矢野 キエ	15:15~16:15 S-6 日本の組織変革へ PCAGIP 導入の 実際と社会貢献 村山 正治	15:15~16:15 S-7 感情の基礎研究か らセラピーを考える —基礎心理学と人間性 心理学の交差— 宮田 周平	15:15~16:15 ポスター 発表 P-15~ P-29	15:15~16:15 S-8 竹内敏晴から心理臨 床家への問：皆さん はどとういう事ですか？ —ことば以前のからだ 三好 哲司	15:15~16:15 W-9 体験過程プロセス分析 による Low-structured group のファンクテー 訓練に関する仮説生成 金子 周平	15:15~16:15 口頭発表 7 O-18~O-20 座長：永原 伸彦
16:00												
17:00	16:30~18:00 懇親会											

2日目 9月23日(月祝)

1F 跡見ブロッサムホール		3F M2308		5F M2503		6F M2603		7F M2703		7F M2707		8F M2809		8F M2810		8F M2811	
9:00		9:30~12:00	WS-1 保育臨床と 子育て支援 I 青木 紀久代	9:30~12:00	WS-3 グループスーパー ビジョン: GSV 保育・子育て 飯長 喜一郎	9:30~12:00	WS-5 グループスーパー ビジョン: GSV 教育相談 (スクールカウンセリング) 野島 一彦	9:30~12:00	WS-7 なぜゲシュタルト 療法に魅せられ るのか その人間性心理学的視 点のお話とワークの体験 倉戸 ヨシヤ	9:30~12:00	WS-9 パーソンセンタード・ アプローチ・ワーク シヨップ: はじめの一步 坂中 正義	9:30~12:00	WS-11 伝統から学ぶ 「生きる力」: 教育現場での実情 佐野 登	9:30~12:00	WS-13 認知、行動、感情、 そして対人関係 の最適化から実 存を導く学生相談 杉山 崇	9:30~12:00	WS-15 事実調査の面接法 司法面接の取組(1) 仲 真紀子
10:00																	
11:00																	
12:00																	
13:00		13:00~15:30	WS-2 保育臨床と 子育て支援 II 青木 紀久代	13:00~15:30	WS-4 グループスーパー ビジョン: GSV 医療・その他 飯長 喜一郎	13:00~15:30	WS-6 グループスーパー ビジョン: GSV 学生相談 野島 一彦	13:00~15:30	WS-8 なぜゲシュタルト 療法に魅せられ るのか エクササイズによる 体験学習 倉戸 ヨシヤ	13:00~15:30	WS-10 パーソンセンタード・ アプローチ・ワーク シヨップ: さらにもう一步 坂中 正義	13:00~15:30	WS-12 伝統から学ぶ 「生きる力」: 物事の学び方 佐野 登	13:00~15:30	WS-14 学生のこれまでに 整理して、これか らを築く心理支援 の道具箱 杉山 崇	13:00~15:30	WS-16 事実調査の面接法 司法面接の取組(2) 仲 真紀子
14:00																	
15:00																	
16:00		15:45~17:15	学会受賞記念 シンポジウム 司会: 山田 俊介														

参加者の皆さまへのご案内

■参加受付

9月22日(日)～9月23日(月祝)

【受付場所】

跡見学園女子大学 文京キャンパス 2号館4階 2407教室

【受付開始時間】

9月22日(日) 9:30～

23日(月祝) 9:15～

【予約参加の方】

- 9月22日(日)受付にお立ち寄りください。コンgresバック等をお渡しします。
- 9月23日(月祝)予約したワークショップ会場に直接お越しください。ワークショップ毎に、各教室で受付を行います。

【当日参加の方】

- 必ず受付にて参加手続きをお願いいたします。参加証を受け取ったのち、大会およびワークショップにご参加ください。

【当日参加費】

- 大会参加費 5,000円 ※名誉会員は無料
- 抄録集費
会員(正会員・準会員) 1,500円 臨時会員(非会員) 2,000円 学部学生 1,000円
※名誉会員は無料
- ワorkshop参加費
名誉会員・正会員・準会員 4,000円 臨時会員(非会員) 4,500円 学部学生 2,000円

■懇親会について

【日 時】 9月22日(日) 16:30～18:00

【場 所】 1号館1階 食堂

*当日参加ご希望の方

大会受付、もしくは懇親会開始時に食堂前の受付にて受付を行います。

〈当日会費〉 会員・臨時会員(非会員) 4,000円 学部学生 3,500円

■クローク

必ず、時間内にお引き取りをお願いします。貴重品はお預かりできません。

【場 所】 2号館4階 2404教室

【開設時間】 9月22日(日) 9:00～18:30

9月23日(月祝) 9:15～17:30

■大会本部

【場 所】 2号館4階 2409教室

*大会スタッフ・大会準備委員が待機しております。何かありましたらお尋ねください。

■ 休憩

1号館1階 学生食堂

2号館 大階段

*自動販売機は1号館1階の学生食堂と、2号館9階にあります。2号館大階段には、無料のペットボトルウォーターサービスを行います。ご自由にお飲みください。

■ お子様連れの方専用フリースペース(女性限定)

2号館7階 2702教室

授乳やオムツ替え等用のフリースペースとして教室を一つ開放します。つい立て等がないため、女性のみ立ち入り可とさせていただきます。授乳等に限らず、小さなお子様連れの方も一息つけるスペースとしても自由に使ってください。

会場のトイレにはベビーシート(おむつ交換台)はありません。お子様連れの方専用フリースペースに長座布団をご用意しますので、そちらをご利用ください。

■ お願い

*喫煙については、学内禁煙でお願いします。

■ 書籍販売・展示

2号館7階 卓上ポスター会場にて、書籍販売・展示等を行っております。是非ご利用ください。

■ 学会総会のご案内

【日 時】 9月22日(日) 12:45～13:45

【場 所】 1号館2階 A教室(M1201)

*総会の時間内に学会賞・奨励賞及び名誉会員の表彰も行われる予定です。

■ 臨床心理士継続研修の申請手続き

大会参加証や参加費等の領収証(コピー可)が、大会参加の証明として使用できます。大切に保管して、各自で申請してください。

■ 大会事務局の連絡先

福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室内

日本人間性心理学会第38回大会運営委員会 事務局

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

FAX: 024-503-3414 MAIL: 2019jhpc@gmail.com

大会ウェブサイト <https://www.2019jhpc.com>

*大会準備委員会へのご連絡は、メールでお願いいたします。

座長の先生方へのご案内

■ 進行について

- 座長の仕事は、司会進行、発表者とフロアのディスカッションのファシリテート、コメント等です。事前に発表者と打ち合わせをして、ご自分のスタイルでお役をおつとめください。滞りのない進行をお願いします。
- 担当の研究発表の30分前までに、総合受付の座長受付に必ずお立ちよりください。出席確認をさせていただきます。その後セッション開始の5分前までに各会場の次座長席に、ご着席ください。
- 時間になりましたら、セッションの開始をお願いいたします。
- 発表前に、座長から携帯電話の使用禁止、発表の録音の禁止について、アナウンス、確認をお願いします。
- 時間内に発表が終わるようにご協力のほど、なにとぞよろしくをお願いいたします。
- 諸事情により、万一座長を務めることができなくなった場合には、日本人間性心理学会第38回大会運営委員会 事務局(2019jhpc@gmail.com)までご連絡ください。
- 座長の先生方には座長ご担当日に昼食をご用意しています。11:30以降に2号館8階 2808教室(座長・講師控室)にお越しください。

研究発表を行う方へのご案内

1. 口頭発表(60分・20分)を行う方へ

■発表時間について

全ての発表者は、発表時間と発表会場を確認し、遅れないようにしてください。

■配布資料について

- 配布資料は発表者が作成し、発表日、発表教室、題目、発表者氏名をご記入の上、必要部数を印刷して持ってきてください。
- 事例研究の配布資料は、必ず発表者が回収し、責任をもって処分してください。
- 大会当日のデータ変更・増刷は、事務局では受け付けていません。なお、学内には利用できるコピー機はありません。

■会場の設備使用について利用上の注意事項

口頭発表を行う会場には、下記の機器や設備があります。

「発表者が準備するもの」と「注意事項」をよく読み、遵守してご使用ください。

1. 会場に設置されているもの

- 液晶プロジェクター
- 備え付けのパソコン
- 接続ケーブル(RGBもしくはVGA)

2. 発表者が準備するもの

- 持込パソコン等(備え付けのパソコンを利用しない場合)
- プロジェクタへの接続アダプター

3. 注意事項

(1) 機材の準備

- 液晶プロジェクターとそれに接続したパソコンは各会場にあります。
- 大会運営理事では、パソコンへの発表データの移行や動作確認はいたしません。
- 接続ケーブルはRGBもしくはVGAです。持込パソコンの映像出力端子が異なる場合は、接続アダプタをご自身で持参ください。MacやiPadなどをお使いの方はご注意ください。
- 音声の接続は行いませんのでご注意ください。
- 持込パソコンはインターネットに接続できません。

(2) 発表当日

- 会場には自分の発表の10分前には到着し、会場前方の発表者席に着席してください。
- 持込パソコンの設置や操作は、演者ご自身あるいは共同発表者などの協力でおこなってください。
- 万が一のトラブルに備え、発表用データはUSBメモリなど複数の方法でお持ちください。

2. 口頭発表(シンポジウム・ワークショップ)を行う方へのご案内

■参加者アンケートの実施について

口頭発表(60分)のシンポジウム、およびワークショップでは、座長はつきません。時間になりましたら登壇者の皆様で進行してください。なお、今回初めての発表形式の試みということもあり、大会参加者の方には任意で参加者アンケートを行います。あらかじめご了承ください。

3. 口頭発表(20分)を行う方へのご案内

■座長との打ち合わせ

- 論文集以外に配布資料がある場合は、事前に担当座長に資料をお送りください。
- 機材設備などについては、上記の「口頭発表を行う方へのご案内」をご参照ください。

4. 卓上ポスター発表を行う方へのご案内

■卓上ポスター発表について

- 卓上ポスター発表の会場は2号館7階 F 教室(M2705)です。
- 責任在席時間は60分です。指定された時間の間は、必ず卓上ポスター発表会場のポスターの前に待機して、参加者とディスカッションをしてください。指定された時間以外は、在席する義務はありません。

【卓上ポスター掲示と撤去】

- 卓上ポスターは、A3サイズポスター等をご用意ください。クリアファイル等を置くのでも構いません。11:30から会場をオープンします。
- 卓上ポスターは発表当日16:15以降に、各自撤去してください。撤去されなかった掲示物は事務局にて処分します。

5. 発表取り消しの場合

不測の事情により発表取り消しや変更をせざるを得ない場合は、必ず書面またはメールにて日本人間性心理学会第38回大会運営委員会 事務局(2019jhpc@gmail.com)にご連絡ください。

学会賞受賞記念シンポジウム

未来を紡ぐ人間関係研究会の歩み

このシンポジウムは一般公開の催しとなります。

人間関係研究会は、エンカウンター・グループを通じた、安全な雰囲気の中で成長し合う人間関係の研究と実践を目的として、1970年春に発足し、もうすぐ50周年を迎えます。パーソンセンタード・アプローチの精神を大切にしながら、毎年各地で、エンカウンター・グループを中心とした多様なワークショップを開催しています。これらの活動を通して、教育・医療・福祉・産業・家庭・地域に、より真実で建設的な人間関係を育てていくことを課題にしています。

このシンポジウムでは、研究会のこれまでの取り組みをふまえながら、現代社会における人間関係はどのような状況や課題があるのか、そしてどのようなアプローチ、実践が求められているのかを探求したいと考えています。

日 時：2019年9月23日（月祝） 15:45～17:15 ※受付15:30～

会 場：跡見学園女子大学 文京キャンパス ATOMI Blossom Hall

参加費：無 料

司 会：山田 俊介（香川大学・人間関係研究会）

シンポジスト：畠瀬 直子（KNC 関西人間関係研究センター・人間関係研究会）

高松 里（九州大学留学生センター・人間関係研究会）

本山 智敬（福岡大学・人間関係研究会）

指 定 討 論 者：森岡 正芳（立命館大学）

シンポジスト紹介

畠瀬 直子（はたせ なおこ）

『子どもの輝く瞳』が失われた時、人類は生きる力を失う。そう考えて、大学はお茶の水女子大学・児童学科に進学。さらに臨床心理学を学ぼうと京都大学・教育学部に進学。支援の決め手となるのはカウンセリングだと識る。畠瀬瀬と出会い、ロジャーズの研究所に二年留学。エンカウンター・グループを識る。以来、研究・実践一筋に歩む。

高松 里（たかまつ さとし）

九州大学留学生センター准教授。臨床心理士・公認心理師。

1979年、大学3年生の時に初めて人間関係研究会主催のエンカウンター・グループに参加。北海道を出る勇気をもらい、2年間のブランクの後、九州大学の大学院に入学。その後、ファシリテーターを約200グループ務めた。大学院時代から、より日常生活に近いグループを求め、セルフヘルプ・グループやサポート・グループの実践・研究を行っている。2017年にフィンランドを訪れ、オープン・ダイアログに接して刺激を受けた。なお、本学会では2008年に学会賞をいただいている。今回は団体として受賞し、珍しくも2度目の登壇。

グループに関する主な著書は、単著「セルフヘルプ・グループとサポート・グループ実施ガイド」（2004年、金剛出版）、編著「サポート・グループの実践と展開」（2009年、金剛出版）、編著「パーソンセンタード・アプローチの挑戦」（2011年、創元社）、単著「ライフストーリー・レビュー入門」（2015年、創元社）など。

本山 智敬（もとやま とものり）

福岡大学人文学部教育・臨床心理学科准教授。臨床心理士・公認心理師。

九州大学教育学部の卒業論文で高校生対象のエンカウンター・グループを実施し、以来20年以上エンカウンター・グループの実践と研究を行ってきた。2016年9月から1年間、イギリスのPCAに触れるためにノッティンガム大学に在外研究員として在籍、その間2度フィンランドを訪れ、オープンダイアログを学んできた。最近の関心はオープンダイアログの思想を通してPCAを再検討すること。

主な著書は以下のとおり。共著『パーソンセンタード・アプローチの挑戦』（2011年、創元社）、共著『「自分らしさ」を認めるPCAグループ入門』（2014年、創元社）、共編著『ロジャーズの中核三条件 カウンセリングの本質を考える 一致』（2015年、創元社）、共著『私とパーソンセンタード・アプローチ』（近刊、新曜社）。

大会主催 ワークショップ一覧

大会主催 ワークショップ 9月23日(月祝)

コース	時間	ワークショップ	講師	会場	ページ
WS-1	9:30～ 12:00	保育臨床と子育て支援Ⅰ	青木 紀久代	2号館 3階 M2308	26
WS-2	13:00～ 15:30	保育臨床と子育て支援Ⅱ			26
WS-3	9:30～ 12:00	グループスーパービジョン(GSV)：保育・子育て	飯長 喜一郎	2号館 5階 M2503	27
WS-4	13:00～ 15:30	グループスーパービジョン(GSV)：医療・その他			27
WS-5	9:30～ 12:00	グループスーパービジョン(GSV)： 教育相談(スクールカウンセリング)	野島 一彦	2号館 6階 M2603	28
WS-6	13:00～ 15:30	グループスーパービジョン(GSV)：学生相談			28
WS-7	9:30～ 12:00	なぜゲシュタルト療法に魅せられるのか —その人間性心理学的視点のお話とワークの体験—	倉戸 ヨシヤ	2号館 7階 M2703	29
WS-8	13:00～ 15:30	なぜゲシュタルト療法に魅せられるのか —エクササイズによる体験学習—			29
WS-9	9:30～ 12:00	パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ —はじめの一步—	坂中 正義	2号館 7階 M2707	30
WS-10	13:00～ 15:30	パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ —さらにもう一步—			30
WS-11	9:30～ 12:00	伝統から学ぶ「生きる力」 —教育現場での実情—	佐野 登	2号館 8階 M2809	31
WS-12	13:00～ 15:30	伝統から学ぶ「生きる力」 —物事の学び方—			31
WS-13	9:30～ 12:00	認知、行動、感情、 そして対人関係の最適化から実存を導く学生相談	杉山 崇	2号館 8階 M2810	32
WS-14	13:00～ 15:30	学生のこれまでを整理して、 これからの築く心理支援の道具箱			32
WS-15	9:30～ 12:00	事実調査の面接法 —司法面接の取組(1)—	仲 真紀子	2号館 8階 M2811	33
WS-16	13:00～ 15:30	事実調査の面接法 —司法面接の取組(2)—			33

ワークショップ一覧

ワークショップ 9月22日(日)

コース	時間	ワークショップ	発表者	会場	ページ
W-1	10:15～ 11:15	交差のリアリティを实践する	村里 忠之 (連名)	2号館 3階 C教室	36
W-2	10:15～ 11:15	江戸川乱歩と精神分析 —論文「J・A・シモンズのひそかなる情熱(三)」を読む—	鶴田 一郎	2号館 8階 H教室	37
W-3	11:30～ 12:30	一人のレズビアン 50代女性の人生の理解 —語る行為の影響にも着目して—	田中 将司	2号館 6階 E教室	38
W-4	14:00～ 15:00	フォーカシング指向心理療法における相互作用と交差 —模擬面接の逐語記録の分析を通して—	内田 利広 (連名)	1号館 3階 B教室	39
W-5	14:00～ 15:00	EG カフェに参加しませんか in 跡見学園女子大学	法眼 裕子 (連名)	1号館 1階 食堂	40
W-6	14:00～ 15:00	支援者支援のための解決志向リフレクティング —日本で実践可能な簡易版 「未来語りのダイアログ」の試み—	田代 順 (連名)	2号館 3階 C教室	41
W-7	14:00～ 15:00	体験過程尊重的アプローチにおけるマイクロ技法の探索	森川 友子 (連名)	2号館 6階 E教室	42
W-8	14:00～ 15:00	心理臨床家を自由にする「からだことば」 —ことば以前のからだ	春日 作太郎 (連名)	2号館 8階 G教室	43
W-9	15:15～ 16:15	体験過程プロセス分析による Low-structured group の ファシリテーター訓練に関する仮説生成	金子 周平 (連名)	2号館 8階 H教室	44

シンポジウム一覧

シンポジウム 9月22日(日)

No	時 間	シンポジウム	発 表 者	会 場	ペー ジ
S-1	10:15～ 11:15	不登校問題を考えるX —学校で今できることについて—	寺田 道夫	2号館 8階 I 教室	46
S-2	11:30～ 12:30	『交差』 概念の拡張について考える	高橋 寛子 (連名)	2号館 3階 C 教室	47
S-3	11:30～ 12:30	PCA を背景に持つグループの可能性を考える ～ファミリーグループとコミュニティプレイセラピーの比較から～	野田 諭 (連名)	2号館 5階 D 教室	48
S-4	11:30～ 12:30	フォーカシング指向心理療法の全体像と勘所 —どのように面接プロセスが進み、どのように終結するのか—	河崎 俊博 (連名)	2号館 8階 I 教室	49
S-5	15:15～ 16:15	幼児の表現(言語や身体で表すこと)をどのように促すか —フォーカシングを用いた関わりの可能性を探る—	矢野 キエ (連名)	2号館 3階 C 教室	50
S-6	15:15～ 16:15	日本の組織変革へ PCAGIP 導入の実際と社会貢献	村山 正治 (連名)	2号館 5階 D 教室	51
S-7	15:15～ 16:15	感情の基礎研究からセラピーを考える —基礎心理学と人間性心理学の交差IV—	宮田 周平 (連名)	2号館 6階 E 教室	52
S-8	15:15～ 16:15	竹内敏晴から心理臨床家への問：皆さんにとって人と出会う とはどういう事ですか？ —ことば以前のからだ	三好 哲司 (連名)	2号館 8階 G 教室	53

口頭発表一覧

口頭発表1 9月22日(日) 10:15~11:15

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O-01	教員のファシリテーションを支える —高等学校での構成的グループ・エンカウターの実践— 本山 智敬(福岡大学 人文学部)	松本 剛	2号館 8階 G 教室	56
O-02	通信制高等学校週2日コースにおける 生徒の心理的経過と登校が可能になった要因 石倉 篤(YMCA 学院高等学校)			56
O-03	高等学校の教師による、PCA を思想的背景として、 SA の手法を用いた教育実践の報告 鈴木 聖幸(広島県立神辺高等学校)			57

口頭発表2 9月22日(日) 11:30~12:30

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O-04	過剰適応傾向の人が自分を物語ることでの自己の気づきへの 影響について —箱庭とTATを比較して— 濱村 星花(九州産業大学 国際文化研究科 博士後期課程)	濱野 清志	2号館 8階 G 教室	58
O-05	発達障害への外気功 —脳の邪気を外気功によって低減することが もたらす心身機能の向上に関する一考察— 椎名 美恵子(心身療治研究所)			58
O-06	アスリート・センタード・コーチングと指導者中心的コーチングに 対する評価の比較 —競技成果に着目して— 恒松 聡一朗(九州大学 大学院 人間環境学府 人間共生システム専攻)			59

口頭発表3 9月22日(日) 14:00~14:40

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O-07	リフレクティングを応用したサポート・グループにおける 専門家の役割意識について 望月 洋介(浜松医科大学 精神医学講座)	村山 正治	2号館 5階 D 教室	60
O-08	医療従事者のメンタルヘルスにおける Prevention としての PCAGIP 法導入から継続まで 野村 陽子(みなと医療生活協同組合 協立総合病院)			60

口頭発表4 9月22日(日) 14:00~15:00

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O-09	内向性・外向性行動の心理的源泉 —東西宗教性から— 山口 豊(東京情報大学 総合情報学部 心理学研究室)	藤中 隆久	2号館 8階 H教室	61
O-10	絵画療法における治療性に関する試論 詩人まど・みちおの描いた抽象画作品群の検討 大日方 薫(一般財団法人 信貴山病院、近畿大学 生物理工学部)			61
O-11	自閉スペクトラム症の少年が未来イメージを抱けるようになるための 支援方法 —文章作成課題に関する事例検討 遠藤 野ゆり(法政大学 キャリアデザイン学部)			62

口頭発表5 9月22日(日) 14:00~15:00

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O-12	体験的応答の観点からみたロジャーズの反射 —1955年 Mr.Lin の面接から— 近田 輝行(フォーカシング・ネットワーク)	小林 孝雄	2号館 8階 I教室	63
O-13	ThのPCA観に関する考察 斧原 藍(関西大学 心理臨床センター)			63
O-14	PCAにおける専門的知識の位置付け 山根 倫也(関西大学大学院心理学研究科)			64

口頭発表6 9月22日(日) 15:15~16:15

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O-15	フォーカシングによる PTSD へのアプローチ 回復への端緒となる“キュー・フェルトセンス” 星加 博之(関西大学 臨床心理専門職大学院)	土井 晶子	1号館 3階 B教室	65
O-16	フォーカシング的態度によるフォーカシング日記の効果の違い 酒井 久実代(和洋女子大学 人文学部 心理学科)			65
O-17	フォーカシング的態度を促進するための環境要因の検討 ～心理社会的要因との関連から～ 永野 浩二(追手門学院大学)(連名)			66

口頭発表7 9月22日(日) 15:15~16:15

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O-18	大学生対象の構成的エンカウンター・グループ ー「コ・ファシリテーター方式」におけるシェアリングの工夫ー 三浦 文子(文教大学 人間科学部 臨床心理学科)	永原 伸彦	2号館 8階 1教室	67
O-19	非構成的エンカウンター・グループ体験の報告と検討 松本 千尋(跡見学園女子大学大学院 人文科学研究科 臨床心理学専攻)			67
O-20	心理臨床家をめざす大学院生による「積極的傾聴実習」の 体験報告と考察 大谷 桃子(跡見学園女子大学大学院 人文科学研究科 臨床心理学専攻)			68

卓上ポスター一覧

卓上ポスター 9月22日(日) 在籍時間 14:00～15:00

No	演題名	発表者	会場	ページ
P-01	世代間交流エンカウンター・グループを大学生はどのように体験したか	吉村 麻奈美 (連名)	2号館 7階 F 教室	70
P-02	なぜグループをするのか：グループ実践家自身の内省と語りあいの場としての「PCA ジャンクション」の試み	高橋 紀子 (連名)		70
P-03	母子生活支援施設における親子関係への支援 — 青年期の親子関係の変化をいかに乗り越えるのか —	須崎 暁世		71
P-04	児童養護施設におけるキャリア・カウンセリング・プロジェクトの効果と意義 — 職員への質的調査の結果から —	井出 智博 (連名)		71
P-05	看護師の視点によるより良い医療環境整備に向けての改善点 — 重症病棟の看護師を対象として —	高井 範子 (連名)		72
P-06	労働者はどのような感情労働をしているのか — インタビューの質的研究によるカテゴリー生成 —	大塚 弥生 (連名)		72
P-07	小学生における学習動機づけと学業適応との関連	大原 尚馬		73
P-08	発達障害児対象の集団療法的アプローチ実施による学生の心理的成長及び変化に関する研究	久保田 進也 (連名)		73
P-09	養護教諭志望学生の集団討論におけるコミュニケーションスキル	石田 妙美 (連名)		74
P-10	グループワークによる保育士支援 — 気になる子どもの保育を巡って —	乗富 千代		74
P-11	親と教師のかかわり方が子どもの学校適応に与える影響についての文献研究	本多 麗奈		75
P-12	ロジャーズ論文を媒体とした大学院生グループの意味 — 修了後の語りから —	北田 朋子 (連名)		75
P-13	自己愛傾向をもつ青年の共感性の特徴について — 類型による差の検討 —	田中 雄大 (連名)		76
P-14	色覚マイノリティ」という経験はどう語られるのか？ — モノローグとダイアローグの比較 —	高松 里 (連名)		76

卓上ポスター 9月22日(日) 在籍時間 15:15~16:15

No	演題名	発表者	会場	ページ
P-15	クライアントと「ともに生きていける」と実感するに至った パーソン・センタード・セラピーの一事例	押江 隆 (連名)	2号館7階 F教室	77
P-16	コミュニティへのアプローチとしてのエスノグラフィ	飯嶋 秀治 (連名)		77
P-17	青年期における心理的ひとりを感じた時のプロセス	清澤 亜希子		78
P-18	フォーカシング的態度が精神的負荷及び安静課題時の心拍に 及ぼす影響について	青木 剛		78
P-19	感覚と運動との相即性に関する一考察 — 一体性感覚の亢進を示すクライアントの事例を手がかりとして —	今村 一成		79
P-20	ひきこもり支援モデル作成のための基礎研究 — 支援団体及び支援者への調査から —	中地 展生 (連名)		79
P-21	本来性と自他への信頼が過剰な外的適応行動に与える影響	服部 智花		80
P-22	動物を介在とした心理療法 — 国内外の文献より —	神原 寛子		80
P-23	大学生の死別経験に対する意味付け — インタビュー調査から —	安部 穂香		81
P-24	カウンセリング場面における自己開示および自己呈示について	吉村 菜々美		81
P-25	過去のストレス体験への意味づけに関する質的調査 — 主観的サポート受領感の低い体験者の語りに着目して —	浦崎 貴大		82
P-26	社交不安症者の安全確保行動と援助要請行動に関する一考察	古賀 なな子		82
P-27	指導者からのソーシャルサポートへの意志認知が被支援感 及び信頼感へ与える影響	富田 倫		83
P-28	「こころの天気」がもたらす小学校児童の 心理的变化に関する考察	窪田 直樹		83
P-29	養護教諭養成における PCAGIP の活用と効果(3) — 効果測定尺度と効果要因の検討 —	内藤 裕子	84	

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

大会主催 ワークショップ

9月23日(月祝)

午前 WS 9:30～12:00

午後 WS 13:00～15:30

WS-1・2 保育臨床と子育て支援

会場：2号館 3階 M2308

参加条件

午前も午後も保育臨床に興味のある方なら、どなたでも参加できます。保育や子育て支援で活躍する様々な専門家のご参加をお待ちしています。

WS-1 保育臨床と子育て支援 I

9:30～12:00

保育現場には、子育て家族の時代的社会的問題が次々と持ち込まれてきます。その問題は、複雑化、深刻化しており、保育士一人で対応しきれない現実が多く見られます。このワークショップでは、こうした現場でなし得る心理臨床について、その基本を学びます。

午前中は、子どもの発達と関係性支援の理論と技法について講義しながら、事例を検討していきます。また、社会的養護における子どものアタッチメントの発達支援などについても触れていきます。

WS-2 保育臨床と子育て支援 II

13:00～15:30

午後は、保育臨床の世界を少し広げて、保護者対応や地域の子育て支援について考えます。

保育の場も、子育て支援の場も、子どもと家族の援助を行う主役は、保育の専門家です。その方々と子どものことを一緒に考えて、協働するところから、保育臨床が始まります。

ワークショップは、現場の問題を心理臨床的にアプローチしていくことが目的ですが、例えば、一人の子どもを囲んで多分野の専門家が一緒に問題解決を考えることができるのは、人間性心理学会の会員構成ならではの機会と思い、皆さんとの出会いを楽しみにしております。

講師 青木 紀久代

社会福祉法人真生会 白百合心理・社会福祉研究所 所長

博士(心理学)・臨床心理士・公認心理師

お茶の水女子大学准教授を経て現職。保育園や乳児院で、長らく心理臨床を行っている。

〈現在の主な活動〉

文京区子ども・子育て会議 議長

横浜市旭区臨床心理系インターンシップ協働支援事業 監修者

保育臨床・子育て支援の専門誌「子育て支援と心理臨床」(福村出版) 編集長。

保育専門誌「保育の友」に「応援☆保育士の心」として保育臨床エッセイを連載。

〈関連する主な著書〉

「いっしょに考える家族支援—現場で役立つ乳幼児心理臨床—」(明石書店)

「実践・保育相談支援」(みらい)

「保育の心理学」(みらい)他

日本人間性心理学会 第38回大会 大会プログラム

大会運営理事会代表：松本 剛

日本人間性心理学会第38回大会運営委員会 事務局：
福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室内
〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
FAX：024-503-3414
E-mail：2019jhpc@gmail.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>